

官民による若手研究者発掘支援事業
(社会実装目的型の医療機器創出支援プロジェクト)
令和5年度終了課題 事後評価結果

1. 研究開発課題名：非発作性心房細動のアブレーション治療のための膜電位映像化技術の開発
2. 研究開発代表者氏名(所属)：富井 直輝(東京大学)

【評価(公開)】

非発作性心房細動のアブレーション治療に用いる膜電位のリアルタイム可視化機能を有する解析装置ならびに電極カテーテルの開発を行いプロトタイプを作製し、所期の性能を得た。後向き臨床研究の進捗は未達であったが、データ解析の結果、既存の装置と比較して時空間分解能等で優位性を確認した。開発サポート機関の支援を受け、事業化戦略を検討の結果、ベンチャーを創業することの方向付けがなされたこと等が評価された。

以上